

編集後記

昨日、今年卒業する学生6人とサイクリングにでかけました。春分を迎えたとはいえ、まだまだ肌寒い薄曇りの朝、金沢大学を出発しました。自転車歴一ヶ月(総走行距離20キロ)の私は、黒地にグリーンのアクセントが鮮やかなピカピカのシクロクロスバイクにまたがり、取り付けたばかりのトゥクリップの感触を確かめつつ、大学の坂を華麗に下ってきました。ふもとの環状線から周りを眺めると、まだ雪に覆われている遠くの間々や荒涼とした田畑の景色が広がっています。いつも自動車通勤をしている同じ道からの眺望ですが、視点や流れるスピードが違うためか、ひと味違った新鮮なものに感じられました。

しかしながら、坂道混じりの行程を10キロも走ると、呼吸は乱れ、脚はしびれ、お尻は痛み、心拍数は急上昇。景色を楽しむ余裕などあるはずもなく、だんだんと遠ざかる学生たちを涙目で見つつ、ただひたすら必死でペダルを漕

いでおりました。やはり体力では彼らにかなわなかった。自転車のグレードは勝っているはずなのに、哀れな姿の私を見かねて途中からペースを落としてくれたお陰で、なんとか目的地の白山市にある食堂までたどり着くことができました。今回みんなを先導してくれた元自転車部の学生によると、自転車で楽に登坂するためには体重を落とすことが早道であるそうです。学生時代に比べて20キロほど増量した自身の体重を恨めしく思いつつ、大盛のカツ丼を掻き込みました。

さて、編集委員の任期も残り4ヶ月となりました。これまで2つの企画記事を提案させていただきました。取りまとめの先生、著者の先生方には企画提案の段階から大変お世話になりました。加えて、私の拙い説明に対して真剣に耳を傾け審議をしてくださった編集委員の方々、いつも明るく我々編集委員をフォローして下さる学会事務の方々、この場を借りてお礼申し上げます。(曾我之泰)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	小川 雄一	副 会 長	斧 高一 二宮 博正	常務理事	西村 新 (総務委員長)
理 事	疇地 宏 (企画委員長) 上杉 喜彦 坂本 慶司 (広報委員長) 永津 雅章 山崎 耕造 (編集委員長)		石原 修 甲斐 俊也 笹尾眞實子 (プログラム委員長) 林 康明 (出版委員長) 米田 仁紀 中澤 一郎		伊藤 早苗 小森 彰夫 清水 克祐 (財務委員長) 堀池 寛 (広告委員長)
監 事	飯尾 俊二				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター：山崎耕造(名大)

エディター：安藤晃(東北大)、坂本瑞樹(筑波大)、中村祐司(京大)、村上匡且(阪大)、室賀健夫(核融合研)、佐々木浩一(北大)

編集委員：秋山毅志(核融合研)、伊藤剛仁(阪大)、今井 誠(京大)、大原 渡(山口大)、岡本 敦(東北大)、片山一成(九大)、菊池崇志(長岡技科大)、熊谷 晃(㈱ジェイ・イー・ティー)、古賀麻由子(兵庫県立大)、後藤拓也(核融合研)、小林進二(京大)、近藤正聡(東海大)、佐竹真介(核融合研)、佐藤正泰(原子力機構)、三瓶明希夫(京都工繊大)、柴垣寛治(鈴鹿高専)、杉山貴彦(名大)、曾我之泰(金沢大)、田代真一(阪大)、田中将裕(核融合研)、中村龍史(原子力機構)、廣瀬貴規(原子力機構)、福山隆雄(愛媛大)、藤澤彰英(九大)、村中崇信(宇宙航空研究開発機構)、山家清之(新潟大)、吉沼幹朗(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第88巻第4号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/>

印刷 株式会社荒川印刷

2012年(平成24年)4月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。